

令和6年度 学校運営協議会 議事録

下野市立南河内小中学校

日時 5月10日(金) 9:30~

参加者 学校運営協議会委員

荻原 剛 様 坪山 仁 様 川田 玲子 様 慶野 正司 様
齋藤 仁志 様 野口 幸一 様
海老原 忠 校長 岡本 直美 教頭 稲見 雄太 教頭 高橋 由枝 教諭
上野 達也 教諭 黒崎 智照 地域連携教員 阿部正明 地域連携教員
地域学校協働活動推進員 上野 保久 様

欠席者 委員 原 安礼 様

会次第

- 1 開会
- 2 学校長挨拶
- 3 自己紹介
- 4 任命書授与(代表受領:慶野 正司 様)
- 5 学校運営協議会についての説明 運営マニュアルの確認
- 6 学校運営協議会長等の選出
会長 齋藤 仁志 様 副会長 坪山 仁 様
- 7 学校運営協議会年間予定について(教頭)
年間4回予定
第3回:児童生徒のロング昼休みの様子を参観していただく予定。
その他 学校行事にもご案内
学校の動きについて随時情報提供

8 協議

- ① 教育目標及び学校経営計画(校長) 「学校概要」「学校経営計画」より説明
行きたい学校 行かせたい学校 勤務したい学校 信頼される学校
御家庭、地域の皆様には、児童生徒の見守り、安全確保への協力等をお願いしたい。
御家庭 早寝早起き朝ご飯、家庭学習、家読、自己肯定感を高める会話
キーワードは「つなぐ」。
<知> 学習の基礎基本の確実な習得 読書活動の充実 朝の読書活動
一人一つタブレット 有効な活用
<徳> 望ましい人間関係作り。不登校児童生徒の減少を目指す。自己有用感を高める。
特別支援の視点からの学校教育
<体> 体力向上と健康
食物アレルギー 保護者と連携を取りながら動いている。
職員の資質チーム力向上

(質疑) 委員より

Q 部活動所属生徒は、多いのか。地域のクラブに入っている子が多いのか。

A 昨年度では7割強が部活動に所属。

Q 食物アレルギーの児童生徒も同教室で食事しているのか。

- A 同教室で食事している。アレルギーを抜いて調理したものを提供し、対応。
- Q 20代の若手教員への対応はどのようにしているか。最初は担任を持たないようにしているのか。
- A 最初から担任（前期課程）であるが、支援員なども入っている。
- Q 特別支援学級の配置について
- A 全6学級 6教室に分かれて学習

②教育課程編成（教頭）

○9年間の学びのつながり

- ・各教科において系統性を意識した教科指導の充実に努めている。年に3回、授業公開を行い、全員必ず1回以上授業をし、前期課程後期課程関係なく自由に参観をしている。また、外部講師を招いた研修を実施している。
- ・各児童生徒の特性を前期課程と後期課程で情報共有。前期課程と後期課程の職員が交流しながら児童生徒に関わっている。
- ・南校舎に6～9年生教室。6年生は後期課程の様子を感じながら生活。特に、6～9年生が同じ保健室を使用することで、保健室を核とした前期課程から後期課程へのつながりができている。中一ギャップに有効と感じている。
- ・授業に関しては、前期課程でも一部、教科担任制を取り入れている。後期課程の教員が音楽、理科、図工の授業を行っている。また、前期課程の教員が後期課程に乗り入れる授業を行っている（英語、体育）。教員が交流して授業を行うことで児童生徒は安心感を得られ、プラスの影響が期待できる。
- ・メディアセンター、パソコン室を1～9年生で共有。一緒に学び合う環境になっている。

○知、徳、体のバランスのとれた児童生徒の育成

- ・道徳の授業の充実。
- ・1～9年生の縦割り班で共遊や清掃を行ったり、1～9年生で体育祭、夕顔祭等の行事に取り組んだりしている。お互いの良さに気づき、思いやりと憧れの気持ちを育てる。
- ・委員会活動では、5～9年生がともに活動。
- ・持久走記録会や体力向上E Tによる授業を取り入れ、体力の向上を意識していく。
- ・教育相談期間を設けている。実態を把握するために、Q-U 検査を実施。出てきた課題の解決に努めている。

○落ち着いた学校生活を送るための日課の工夫

- ・前期課程と後期課程の日課を極力そろえている。
- ・ノーチャイムで生活。
- ・朝の活動の時間に読書、前期課程ではボランティアによる読み聞かせを実施している。

③ 学校運営等に関する質疑・応答

- Q 読み聞かせは毎日やっているのか
- A 毎月1回程度。中学生が小学生に読み聞かせをする活動も。
- Q ノーチャイムにしているのはなぜか。

- A 自分達で時間を管理する力を付ける。時計を見て先を見通して行動できるようにする。
- Q 小中一貫校は学びのつながり、互いの状況を把握し合える環境などメリット大きいと感じたが、デメリットは。
- A 6年生の活躍の場が少なくなることも考えられるので、意図的に増やすようにし、前期課程最高学年としてのリーダー性を育てられるようにしている。3月には、修了証授与式も実施している。
- 職員間の相談の時間など、調整に時間がかかることも多い。

- ④ 基本方針の承認（教頭）
すべての協議事項に承認をいただきました。

9 その他

（推進員）パワーアップアクションプランについて

- ・開校に合わせて作成したもの。3年前開校前に地域の全家庭に一度配付した。
- ・学校でやること、家庭でやること、地域でやることをいくつか抽出したもの。さらにいい方向に進んでいくため、もう一度見直したい。お図りしたい。

（委員）毎年回覧板で各家庭に配付するとよいのでは。

（委員）一番難しいのは家庭へのアクション。目に入るような親しみのある大きな活字（シグナル）で表示し、家の中に貼ってもらうとよいのでは。

（推進員）地域の方は自分から児童生徒に挨拶しづらいようだが、大人の方から積極的に挨拶をすることが必要。ぜひお願いしたい。

（委員）挨拶についても、大きな活字で表示し周知するとよいのでは

（推進員）挨拶の仕方、止まってくれた車へのお礼の仕方など、当然分かっているだろうと思うことも具体的に児童生徒に示すことが大事かもしれない。

選出	下野市小中一貫教育推進協議会委員	齋藤委員
	下野市ふれあい推進委員	川田委員

事務連絡

10 閉会

